

第 6 回アジア・スマートシティ会議開催

新興国諸都市のニーズと国際機関や企業のソリューションを結ぶ交流の場

横浜市は、環境未来都市として公民連携による国際技術協力事業「Y-PORT 事業」を実施し、市内企業の海外展開支援や新興国諸都市の都市課題解決支援を進めています。

その一環として、アジア新興国諸都市の市長や国際機関等の有識者が一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う、横浜市主催の国際会議「アジア・スマートシティ会議」を今年も開催します。

第 6 回目となる今年の会議は、アジアの 27 都市（平成 29 年 10 月 19 日現在）が参加して 10 月 25 日から 27 日にかけて行います。また、日本政府や国際機関等の有識者も数多く御参加いただく予定です。

第 6 回アジア・スマートシティ会議及び併催イベントの概要 ※招待制の会議です。

日付	イベント内容
10/25 (水)	インフラ施設視察 (13:00~17:00) ※海外からの参加者を対象に実施 視察先：北下水道センター、港北ニュータウン
10/26 (木)	併催イベント ① スマートな都市開発会議 (9:00~17:00) 主催：世界銀行、アジア開発銀行 会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3 階ボールルーム http://www.worldbank.org/ja/events/2017/10/26/smart-urban-development-conference ② Yokohama Youth Event 2017 (14:00~17:00 (開場：13:30)) 【別紙あり】 主催：国立大学法人横浜国立大学、公立大学法人横浜市立大学、横浜市 会場：パシフィコ横浜 会議センター301
10/27 (金)	第 6 回アジア・スマートシティ会議 (9:30~17:00) (詳細は裏面をご参照ください) テーマ：「情報のマーケットプレイス構築に向けて」 主催：横浜市 会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1 階及び 3 階 ※当日は、ホテル 3 階ボールルーム前の受付まで直接お越しください。 参加予定者：27 都市、国・関係機関 日程：【午前】4つの分科会を開催 【ランチ】会場において、市内企業などによる展示の実施 【午後】全体会を開催

取材申込方法

取材を希望される際は、10月23日(月)までに、以下のEメールアドレスあてに、

- ① 貴社名、② 代表者お名前、③ 人数、④ 撮影の種類(例：動画撮影、静止画撮影)、
- ⑤ 取材を希望されるイベント、について御連絡ください。

取材申込みEメールアドレス：ki-ascc@city.yokohama.jp

第6回アジア・スマートシティ会議について

1 参加予定者

(1) 都市

南ダッカ市（バングラデシュ）、ナウソリ（フィジー）、東ゴダバリ地区、カキナダ市、ラージャマヘンドラヴァラム市、ムンバイ市（以上インド）、バタム市、バタムフリーゾーン監督庁、バンドン市（以上インドネシア）、東松島市、北九州市、神戸市、富山市（以上日本）、ペナン市、セベランペライ市（以上マレーシア）、マレ市（モルディブ）、ウランバートル市（モンゴル）、バギオ市、カガヤン・デ・オロ市、セブ市、ダナオ市、マンダウエ市、ナガ市、サンフェルナンド市（以上フィリピン）、コロンボ市（スリランカ）、ホーチミン市（ベトナム）、横浜市 ※27都市、国名（都市名）アルファベット順

(2) 国・関係機関

日本政府（内閣府、内閣官房、外務省、財務省、環境省）、経済協力開発機構（OECD）、世界銀行、アジア開発銀行（ADB）、世界大都市気候先導グループ（C40）、国際連合人間居住計画（UN-HABITAT）、海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）、国際協力機構（JICA）、国際協力銀行（JBIC）、地球環境戦略研究機関（IGES）、緑の気候基金（GCF）、横浜国立大学、横浜国立大学など

2 会議プログラム

9:30~12:00

分科会

- 分科会1：スマートシティにおける廃棄物・汚泥処理
- 分科会2：省エネ、低炭素な都市づくりの実現に向けたアプローチ
- 分科会3：ICT・ビッグデータの活用
- 分科会4：日本の経験 ～アジア諸国との更なる連携に向けて

12:00~14:00

ランチ・ビジネスマッチング（市内企業ブース展示）

14:00~17:00

全体会

- 主催者挨拶 横浜市長 林 文子
- 基調講演 OECD、外務省、環境省
- ラウンドテーブル・セッション
- 第6回アジア・スマートシティ会議宣言・横浜宣言の発表

【参考】第5回アジア・スマートシティ会議の様子



【環境未来都市】

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。

横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。



お問合せ先

会議全般に関すること	国際局国際協力課国際技術協力担当課長	野上和義 Tel 045 - 671 - 4706
環境未来都市に関すること	温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	内山幹子 Tel 045 - 671 - 2477
「Yokohama Youth Event2017」に関すること	文化観光局MICE振興課アジア開発銀行年次総会担当課長	河合太一 Tel 045 - 671 - 4212

ADB 年次総会横浜開催フォローアップ事業 「Yokohama Youth Event 2017」開催！



第 6 回アジア・スマートシティ会議で、 アジアの持続可能な成長をテーマに、大学生が英語で議論！

「第 6 回アジア・スマートシティ会議」において、横浜国立大学及び横浜市立大学の学生が、
直接、海外の専門家や ADB エコノミスト等と英語で議論を行う「Yokohama Youth Event 2017」を
開催します。

本イベントは、平成 29 年 5 月に第 50 回アジア開発銀行 (ADB)
年次総会の公式プログラムとして開催された「次世代育成セミナー」
のフォローアップ事業として実施します。

ぜひ取材いただきますようお願いいたします。



第 50 回 ADB 年次総会公式プログラム
「次世代育成セミナー」

- 1 日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木) 14:00～17:00 (開場：13:30)
- 2 会場：パシフィコ横浜 会議センター301(横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
- 3 主催：国立大学法人横浜国立大学、公立大学法人横浜市立大学、横浜市
- 4 内容：
 - ◆基調講演：「第 50 回 ADB 年次総会で何が協議されたか」
ADB 駐日代表事務所 駐日代表 松尾 隆 氏
 - ◆横浜国立大学 発表、ディスカッション、Q&A
テーマ：「アジアにおけるスマートシティ開発のあり方について
- 特にモビリティ、居住、環境、防災に着目して -」
チームリーダー：横浜国立大学 理事・副学長 中村 文彦 氏
 - ◆横浜市立大学 発表、ディスカッション、Q&A
テーマ：「日本企業のアジアでのインフラビジネスについて
- セブとダナンでの官民連携プロジェクトのケースから -」
チームリーダー：横浜市立大学 国際総合科学部 経営学コース 准教授 芦澤 美智子 氏
- 5 ディスカッション参加者 (予定)
 - ・横浜国立大学 学生 8 名
 - ・横浜市立大学 学生 10 名
 - ・松尾 隆 氏 (ADB 駐日代表事務所 駐日代表)
 - ・ギルホン・キム 氏 (ADB 持続的開発・気候変動局 上級部長 兼 チーフセクターオフィサー)
 - ・キジョン・キム 氏 (ADB 持続的開発・気候変動局 主席交通専門官)
 - ・ジョリス・ヴァン・エッテン 氏 (ADB 持続的開発・気候変動局 上級都市開発専門官)
 - ・チャー・アン・ロノ 氏 (ADB スマート・システム推進プロジェクト・チームリーダー)
 - ・ピンドゥ・N・ロハニ 氏 (リソーシーズ・センター代表、Y-PORT センターアドバイザー)
 - ・メリー・ジェーン・C・オルテガ 氏 (シティネット特別顧問、Y-PORT センターアドバイザー)
 - ・アルフォンソ・ヴェガラ 氏 (ファウンダシオ・メトロポリ代表、Y-PORT センターアドバイザー)
 - ・チョウ・エン 氏 (アジア開発銀行研究所 エコノミスト)
 - ・プラチ・グプタ 氏 (アジア開発銀行研究所 エコノミスト) 他

※言語：英語 (通訳なし)

※イベントの参加は事前招待制です。

※取材いただく際は、当日、パシフィコ横浜会議センター301 前の受付まで
お越しください。

【参考】

* 「第6回アジア・スマートシティ会議」

アジア新興国諸都市の市長や国際機関等の有識者が一同に会し、持続可能な都市づくりの実現に向けた知見を共有する会議。

昨年の第5回は40を超える都市の市長を含む代表者や、日本政府、国際機関、学術機関、民間企業など多くの組織・機関からの参加がありました。

開催日：平成29年10月27日（金）

会場：横浜マグランドインターコンチネンタルホテル

参加者：海外都市、日本政府、国際機関、
学術機関、民間企業等

テーマ：①スマートシティにおける廃棄物・汚泥処理
②省エネ、低炭素な都市づくりの実現に向けたアプローチ
③ICT・ビッグデータの活用
④日本の経験

お問合せ先：国際局国際協力課国際技術協力担当課長 野上 和義
Tel 045-671-4706



第5回アジア・スマートシティ会議

※ 「アジア・スマートシティ会議」全体会議で学生代表が
「Yokohama Youth Event 2017」の報告発表を行います。

*第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会公式プログラム 「次世代育成セミナー」

横浜国立大学、横浜市立大学の学生が、アジアの貧困削減について、ADB本部のあるフィリピンで行った事前フィールドワーク調査について発表。ADBエコノミストを交え、13大学9か国52名の学生が課題解決に向けて英語で熱い議論を交わし、若者ならではの柔軟な発想で、ADBに向けて提言を行いました。

開催日：平成29年5月6日（土）

会場：パシフィコ横浜会議センター

参加者数・来場者数合計：200人

テーマ：「貧困削減とインクルーシブな経済成長に向けて
～横浜の若者による分析と実践的ビジネス教育プログラムの試み～」



第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会公式プログラム 「次世代育成セミナー」

お問合せ先

【イベント全体について】

文化観光局MICE振興課アジア開発銀行年次総会担当課長 河合 太一 Tel 045-671-4212

【学生の発表及びディスカッションについて】

国立大学法人横浜国立大学 学務部国際教育課長 竹内 智子 Tel 045-339-3180

公立大学法人横浜市立大学 グローバル推進室担当課長 森谷 章子 Tel 045-787-8945